

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	排水施設(側溝・排水管)の設置	m	目標	500.00	500.00	500.00
			実績	642.30	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	排水整備率	%	目標	24.20	24.40	24.60
			実績	24.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題ない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている)。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達している。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	ある程度進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
予算が削減されていく中で、コスト削減に努めてはいるが、近年ゲリラ豪雨等により住宅地の冠水が増加傾向にある。また、他の事業に比べてコストが高いため、対応が困難である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
水溜り箇所図の作成等の現状把握・分析 年々市道排水整備の要望が増加する中、より専門的な設計が求められるため、設計委託により対応していきたい。			

■方向性

1次評価(1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ☐ 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続(改善・改革なし) ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 整備箇所の把握に努めその箇所に応じた費用対効果を考慮し、最適な施工方法を選定してコスト削減、成果向上を図る。なお、人と金の拡充については、財政状況と出来る限り調和を図りながら進める。
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ☐ 拡充(人・モノ・カネ等の拡充) ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続(改善・改革なし) ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 上記評価のとおり。